

(一社)日本埋立浚渫協会主催 令和元年度港湾技術報告会 開催案内

この度、当協会主催で令和元年度港湾技術報告会を下記の通り開催することとなりました。この報告会は、港湾技術及び関連する分野の最新動向等について有識者よりご講演いただくとともに、当協会の自主的な研究活動の成果報告等を行い、技術の向上を目指すことを目的としております。

今年度は、株式会社 イエイリ・ラボ 代表取締役、建設 IT ジャーナリスト 家入 龍太様より「ポスト五輪時代の建設現場はこう変わる ～AI・ロボットが同僚になる時代～」と題してご講演をいただくと共に、国内外において当協会が幅広く活動を行った成果を披露させていただきます。

記

1. 日時：令和元年 7 月 26 日(金) 13:30～16:45 (受付開始 13:00)
2. 場所：ルポール麹町 (千代田区平河町 2-4-3) 2 階 ロイヤルクリスタルの間
有楽町線「麹町駅」より徒歩 3 分
有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」より徒歩 5 分
4. 申し込み締切： 令和元年 7 月 17 日(水)
5. 定員 180 名 (定員になり次第応募を締め切らせて頂きます。)



問い合わせ先 (一社)日本埋立浚渫協会 佐々木、高木(tel : 03-5549-7468.)

令和元年度港湾技術報告会

13:30 開会

13:35～14:35 第1部 特別講演

株式会社 イエイリ・ラボ 代表取締役、建設 IT ジャーナリスト
家入 龍太 様

演題：「ポスト五輪時代の建設現場はこう変わる
～AI・ロボットが同僚になる時代～」

14:35～14:50 (休憩)

14:50～16:45 第2部 協会活動報告

◇ 自主研究報告 (14:50～15:25)

・「洋上風力建設における作業基地港湾のあり方について」

五洋建設(株) 土木部門 洋上風力プロジェクト・チーム

力石 大彦

◇ 技術開発関連報告 (15:25～16:25)

1) 「重力式係船岸増深工法の実用化に向けた追加実験

：可塑状グラウト改良体の強度・変形特性」

東亜建設工業(株) 技術研究開発センター 主任研究員 三枝 弘幸

2) 「リプレイサブル栈橋上部工の現地実証試験について」

あおみ建設(株) 北陸支店 新湊上部作業所 水上 柚香

3) 「港湾工事での CIM 活用と今後の展望」

東洋建設(株) 土木事業本部 土木技術部部长 中嶋 道雄

4) 「海上施工からみた波浪特性の経年変化」

東洋建設(株) 土木事業本部 総合技術研究所／鳴尾研究所

主任研究員 澁谷 容子

◇ 国際事業報告 (16:25～16:45)

・「世界の港湾インフラ建設工事

～バヌアツ国ポートビラ港ラペタシ国際多目的埠頭整備計画～」

東亜建設工業(株) 国際事業部 土木部部长 畠沢 伸治

16:45 閉会

*本報告会は(公社)土木学会の継続教育(CPD)認定プログラムを取得する予定です。

申込用紙

一般社団法人 日本埋立浚渫協会 事務局宛

E-mail : takasati@mte.biglobe.ne.jp

及び

h-sasaki@kcd.biglobe.ne.jp

Fax : 03-3588-7439

令和元年度港湾技術報告会 参加 申込書

会社名			
連絡担当者名		(電話)	(E-mail)
参加者	氏名	所属及び役職	備考
	1.		
	2.		
	3.		
	4.		
	5.		
	6.		